

国際学術コミュニケーション特別委員会 SPARC/JAPAN プロジェクトチーム 活動報告

1. 総会以後の経過

- 第1回評議会（6月25日 / 国立情報学研究所）
 - ・事業全体計画、参画提案公募要領を決定。
- プロジェクト打合せ（6月26日 / 大宮ソニックシティー）
 - ・SPARC/JAPAN への取り組み方、日本版 Create Change の内容等について討論。
- SPARC/JAPAN 説明会（7月2日 / 日本教育会館）
 - ・NII 主催、128 組織（153 名）が参加。公募要領等を説明。
- SPARC/JAPAN 参画学協会論文誌公募通知（7月14日付）
 - ・国内学協会（2145）、大学図書館（668）等に送付、締切は9月3日。
- 第1回運営委員会（8月1日 / 国立情報学研究所）
 - ・採択論文誌（候補）の選考要項、選考チーム等を決定。
- プロジェクト打合せ（8月28日 / 東京大学附属図書館）
 - ・日本版 Create Change の内容等について討論。
- 参画学協会論文誌公募締切（9月3日）
 - ・40 学協会（51 誌）から応募。
- 第2回運営委員会（9月11日 / 国立情報学研究所）
 - ・採択論文誌（候補）21 誌（16 学協会）を選考。
- 第2回評議会（9月17日 / 国立情報学研究所）
 - ・採択論文誌 21 誌（16 学協会）を決定。
- 作業グループ全体会議（10月8日 / 国立情報学研究所）
 - ・今後の進め方を協議、分野別作業グループを設置。

2. 本プロジェクトチームの主な活動内容

- (1) SPARC/JAPAN 広報宣伝リーフレット（日本語版 Create Change）の作成
欧米 SPARC 及び SPARC/JAPAN の背景、目的、意義と、これらの活動を支援する国立大学図書館協議会の立場を概説して大学の研究者と図書館員に賛同と協力を呼びかけるリーフレットを作成した。リーフレットは研究者向けと図書館員向けの2種。それぞれA4判三つ折の両面印刷。印刷部数は研究者向け5000部、図書館員向け2400部。10月16日に各大学に配布済み。
- (2) SPARC/JAPAN 及び欧米 SPARC が支援する学術雑誌の国内購読状況調査
国立情報学研究所から前記の採択誌の国内購読状況調査について依頼があり、電子ジャーナル・タスクフォースと協力して調査中。欧米 SPARC 支援タイトル購読状況の調査方法については現在検討中。

3. 今後の活動予定

- (1) 図書館総合展フォーラム 「SPARC/JAPAN：日本の国際学術コミュニケーションの
変革」(11月5日(水)/東京国際フォーラム)

パネリスト(予定): 欧米 SPARC, N I I, 学協会, 大学図書館(国立/私立)
の各関係者が発言、フロアとも意見交換。

- (2) ビジネスモデルに関する作業グループとの協議

2004年1月(もしくは4月)からのサイトライセンス契約に向けて、価格設定を含
めた提供モデルを作業グループと電子ジャーナル・タスクフォースとの間で協議する。

- (3) その他の広報宣伝活動

○大学図書館職員講習会 「SPARC/JAPAN の目的と概要」

西地区：11月14日/大阪大学附属図書館

東地区：11月21日/東京大学附属図書館